

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイさくらんぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日	～	令和8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日	～	令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士の資格を持った職員が多いため、専門的知識を生かした療育ができます。保育士ならではの目線で、保育園や幼稚園での集団生活にむけた支援を行っています。	園やご家庭と連携し、時には必要な教具を職員が自作して、個々の発達や特性に合った療育を行っています。室内での活動に限らず、近くの公園へのお散歩を通じて、手をつないで歩く練習、交通ルールの確認等の訓練も行っています。	施設内研修を行ったり外部での研修に積極的に参加し、知識を深めてより良い療育を目指しています。また、園やご家庭との情報交換を行い、普段の児童の様子や困りごとなどを把握して療育につなげていきたいと考えています。
2	少人数のため、一人一人に合わせたきめ細かい支援を行うことができます。児童の特性に合った教具を準備したり、活動プログラムを組んでいます。	それぞれの児童の発達や特性について職員間で話し合い、活動内容や療育の方針を決定しています。共通理解のもと、担当の職員が対応できない場合でも一貫した療育を行えるよう工夫しています。	児童が飽きてしまわないよう、定期的に教具やプログラムの見直しを行っています。日々情報を集めながら新しい教具や新しい活動を取り入れることで、児童にも積極的に楽しく療育に取り組んでもらえるのではと考えています。
3	一戸建ての家屋を施設として利用しているため、「施設」という雰囲気はなく児童もリラックスして過ごすことができます。また職員同士も連携をとれており、明るく暖かい雰囲気で療育を受けていただくことが出来ています。	施設の内装が白を基調としているため、殺風景になってしまわないよう壁面装飾などでカラフルに飾り付けています。また、児童の状態や課題に関して職員間で情報を共有し、担当外の職員でも気軽に声を掛け合ったり会話を楽しむ等、楽しい空間を作ることが出来るよう工夫しています。	毎月児童の製作物を数種類飾ったり、季節に合わせた壁面装飾を月ごとに貼り替えて、いつでも楽しんでもらえるようにしています。児童の製作については、季節に合うもので指先の訓練にもなるものを毎月準備しています。持ち帰った際には保護者からもご好評いただいています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2階へ上がる階段や、リビングにも3段ほどの段差がある。	一戸建ての住宅を施設として利用し、活動スペースのほとんどが2階にあるため、どうしても階段を昇っていただく必要があります。また、リビングにあたる大部屋には3段の段差があります。	手すりやベビーゲートを設置し、安易に階段スペースへ出入りできないようにしているなど、階段や段差を安全に昇降できるように努めています。児童が階段の昇り降りをする際には必ず職員が下側に付き添うようにしており、必要に応じて手すりを使うよう促したり手を添えたりして対応しています。リビングの段差では床と段の境目をわかりやすくするようカラーテープを貼って注意を促しています。こちらには手すりがないので、職員が声を掛けたり手を添える等して安全に気を付けています。
2	個室が少ない。	一戸建ての住宅を施設として利用しているため、完全な個室が2部屋しかありません。	リビングの一部をカーテンで仕切り、できるだけ児童が集中して課題や活動に取り組むことが出来るような半個室を作っています。音が気になる児童や集中力が持続しにくい児童が優先的に個室を利用できるよう配慮しています。また、就学に向けて視覚的・聴覚的に情報が多い状況での活動の訓練には大部屋を使うなど、場面にに応じて使う部屋を工夫しています。
3	経験豊富な職員が少ない。	開所して間もないこともあり、児童発達支援の経験のある職員が少ないのが現状です。	児発管や児童発達支援・放デイでの療育経験のある職員、また他事業所の方から助言をいただいたり、さまざまな研修を受ける等日々知識を深める努力をしています。十分な経験のある保育士が複数在籍しており、保育の知識や経験を生かしながら、療育・保育両方を取り入れたきめ細やかな支援を行っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイさくらんぼ

公表日 令和8年 2月 19日

利用児童数 6名

回収数 3件

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイさくらんぼ				
		公表日 令和 8 年 2月 19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分な広さがあり、活動や必要に応じて個室と機能訓練室を使い分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援に関しては、基本的に1対1での療育を行うのに十分な職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段や段差があるが、カラーテープを貼ったり幼児にも分かりやすい絵カードを掲示して視覚的に分かりやすいよう配慮しています。	・玄関外の階段やスロープに手すりがあった方がよい。 ・室内の段差にクッションカバーなどケガ防止のための対策をした方がよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃・消毒・換気を行い、活動しやすい空間を保っています。季節の壁面装飾も飾り、明るい空間になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動内容や特性に応じて個室やカーテンで仕切る半個室を使用することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		週1回の職員会議や研修の中で行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の結果を職員間で共有し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週1回の職員会議の他、必要に応じて話し合いの機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていません。	現時点で第三者評価を受ける予定はありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修や訓練を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		半年ごとに個別懇談を行い、ご家庭のご意向や課題を伺ったうえでその内容をもとに個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画をもとに職員会議を行い、共通理解のもとでそれぞれの児童に最適な支援を行えるよう情報共有しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画をもとに職員会議を行い、共通理解のもとでそれぞれの児童に最適な支援を行えるよう情報共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の活動の中で気になることなど、職員間で情報共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントをもとに、適切な支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で連携を取り、情報共有しながらプログラムの立案をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節ごとの製作やイベントなど、子どもが毎回楽しく参加できるよう工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の状態や特性に合わせて個別活動・集団活動を組み合わせ、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で当日の活動内容を共有し、児童の状態を見ながら臨機応変に対応し、連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		児童の様子等で気になることや送迎時の保護者とのやりとり等、必要に応じて情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日業務日誌を記録し、支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の担当職員が参加し、持ち帰った情報を職員間で共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		園の先生やコーディネーターさん、相談支援員さん、医療機関などと連携して支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		送迎の際に園での様子や困りごとを確認したり、当日の支援の内容を連絡帳として園に提供しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		入学予定の小学校との間で情報共有しています。保護者の希望があれば就学前に園や小学校で会議をすることもできます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		現時点ではそのような機会は設けていません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		通所を知られたくない保護者様もおられますので、現時点ではそのような機会は設けていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		その日の様子を連絡帳にてお知らせしています。また連絡ノートも用意し、保護者様から最近の様子等をご連絡をいただいたときには職員間で共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		通所を知られたくない保護者様もおられますので、現時点ではそのような機会は設けていません。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明し、同意をいただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度の個別懇談でご家庭での意向を確認し、それをもとに個別支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の更新ごとに内容を説明し、同意を得たうえでサインをいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に1度の個別懇談時や日頃の送迎時に相談に応じたり、必要に応じて助言や支援を行います。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	通所を知られたくない保護者様もおられますので、現時点ではそのような機会は設けていません。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	契約時に相談対応窓口を明示するとともに、相談や申し入れがあった場合には担当者が迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	月に1度おたよりを配布し、ホームページのブログを更新しています。SNSでの配信も行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	鍵付き書庫を使用する等、個人情報の取り扱いには十分留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	伝わりやすさに配慮しながら情報伝達をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	通所を知られたくない保護者様もおられますので、現時点ではそのような機会は設けていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各種マニュアルは職員がいつでも手に取れる場所に保管し、定期的に訓練や研修を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的に訓練や研修を行っています。物資の備蓄もしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時に確認し、必要な対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	定期的に訓練や研修を行い、安全管理が十分された中で支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	契約時に説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットを職員間で共有し、再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	定期的に研修や話し合いを行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	定期的に研修を行い、契約時と計画書の更新時に保護者に説明したうえで同意をいただいています。		